



【命の経済】

皆様、いつも「みのエネ」の事業と活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が急拡大してから1年以上が経ちます。しかし、事業者様の電力使用量の推移は少なく、まだまだ稼働状況が回復しきれていないお客様が多いと察せられます。

しかし、経済状況の悪化は止まらないにも関わらず、株価だけが高く推移しているという不思議な状況です。経済が「お金の経済」と言われる状況なのではないでしょうか？

一方で、これからの新しい社会に必要な経済とは「命の経済」とも言われます。つまり、お金のための経済ではなく、人が生きられるための経済です。分かりやすく言えば、「お金がないと生きられない社会」ではなく、「お金がなくても生きられる社会」が必要とされているということです。

(決して、お金が不要といっている訳ではありません)
実はその「お金がなくても生きられる社会」こそ、私たちみのエネが目指す理想なんです！

もし、地域内で食とエネルギーが自給自足できれば、その地域内の人々は「生きられます」。これから、どんな社会になっていくのか予測もできない状況です。しかし、そんな時だからこそ、予測よりも理想が大切なのかもしれません！ぜひこれからも皆さんと一緒に地域の理想を追求したいと思います。

みの市民エネルギー株式会社
代表取締役 辻 晃一



今年の冬は電力が足りない！？

先日、経済産業省が「今年の冬の電力が足りなくなる恐れがある」と発表したのをご存じでしょうか？

簡単に言えば夏の電力はギリギリ確保できるけれど、冬の電力は確保できないので早急に対策が必要という内容です。

大きな理由の一つは火力発電の休廃止が相次いでいるということ。日本は現在、海外から輸入した天然ガス(LNG)による火力発電がメインです。その為、火力発電所の供給力が減ってしまえば電力の確保は難しくなります。火力発電を続けたとしても、燃料として使われている天然ガスや石油・石炭などは限りがあるので、このまま今のペースで使い続けると石油は約40年、天然ガスは約70年で尽きてしまうと言われています。

このような環境問題を解決するために、再生可能エネルギーへの転換が急がれています。そんな中、私たち一人一人ができることはやはり「節電」。とはいえ今年の夏も暑くなりそうなので、無理のない範囲で取り組んでいきたいですね！



<お知らせ>

↓お申し込みはコチラ↓

電気代の請求書をペーパーレスにすると
毎月の電気代から100円割引に！
環境のためにもペーパーレス始めませんか？



卒FIT対象者さま向けのご案内

太陽光の卒FITを
税込**8.5円/kWh**で
買い取らせていただきます

再生エネルギーの活用で
エネルギーの地産地消を♪

電気の地産地消は
SDGsへの取り組みです

7 再生エネルギーの活用	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
--------------	------------------	-------------------	---------------------

停電の際は中部電管内託送部門 0120-985-232 にお電話ください

現在のご契約件数 193件 313本 5,643kw

